

令和元年度 上田市立第四中学校 自己評価シート

学校教育目標			めざす生徒の姿（中期的目標）	総合評価					
『自己を見つめ、友と協力して 明るく逞しく生き抜く生徒』			○生徒が動く授業 ○届く挨拶 ○気づく清掃 ・よりよい自己実現を目指す生徒 ・協調性や連帯感を身につけている生徒 ・計画的に目標に向け進んでいく力を持つ生徒						
			今年度の重点目標	成果と課題	A	B	C	D	改善点・向上策
			①学力向上						
			②不登校未然防止						
			③生徒が前面に出て活動する場の設定						
④確実な報告・連絡・相談									
領域	対象	評価項目	評価の観点	成果と課題	A	B	C	D	改善点・向上策
教育活動	① 学力向上	課題を明確にした授業	授業の展開が見える構造的な板書をしている。						
		生徒が活動する授業	自分の考えをまとめたり、発表したりする場面を位置づけている。						
		規律が守られた授業	チャイムで始め、チャイムで終了している。						
		家庭学習の充実	授業と関連した内容を、家庭学習の課題としている。						
	② 不登校未然防止	生徒に寄り添った支援	全ての生徒が安心して過ごせるように、生徒に寄り添った支援を心掛けている。						
		不適応・不登校の早期発見	教師間で連携を密に取り合い、早期対応に努めている。						
		自己肯定感を持たせる支援	「わかった」「できた」という学びの実感を得られる授業を展開し、そのための支援をしている。（評価など） 日頃から生徒の良さを認め、生徒のやる気を喚起している。						
	③ 生徒活動が前面に出る場の設定	「届く挨拶」を広げる	進んで挨拶を行い、挨拶の手本を示している。						
		「響く歌声」を広げる	日頃から歌う場面を位置づけ、校内に歌声を響かせようとしている。						
		「気づき清掃」の充実	清掃への取り組み意欲を高めるように、環境を整えたり、共に清掃に取り組んだりしている。						
		生徒集会の充実	生徒が主体的な集会を生徒と共に企画し、多くの生徒が活躍できる場面を位置づけている。						
			地域の方やPTAと連携を密に取り、生徒の活動を支えている。						
	④ 学校運営	確実な報告・連絡・相談	お互いの立場や役割を尊重して事を進める組織づくり	個人で抱え込まず、情報を共有し、チームとして素早く対応している。					

○評価基準 A・・・達成できた B・・・おおむね達成できた C・・・やや達成できなかった D・・・達成できなかった